

山中康司「テクニカル分析に強くなるオートチャーティスト」更新日：5月24日



1982年慶応義塾大学卒業後、アメリカ銀行に入行。トレーディング業務に従事し、1989年バイスプレジデント。1997年日興証券に移り、1999年日興シティ信託銀行為替資金部次長。2002年金融コンサルティング会社アセンダントを設立、取締役役に就任。

## ■オートチャーティストとは

オートチャーティストとは SaxoTraderGO で取引できる商品のチャート分析を自動で行い、確率が高いと考えられる売買戦略を表示する取引支援ツールです。チャート分析はテクニカル分析でも最も基本かつ重要なチャートパターン（各種の反転、継続パターン）、キーレベルパターン（トレンドライン）、フィボナッチパターン（リトレースメント等）が完成した場合、あるいは形成中に一覧表示されます。一覧表示では、各種パターンの詳細、取引を行う場合のターゲット等の情報が表示され、表示する情報をフィルターで絞り込むことが可能です。この売買戦略レポートでは、この一覧表示の中から翌週にも有効と考えられる通貨ペアを毎週3通貨ペア、ピックアップしていくこととします。

- [10分でできるオートチャーティスト・クイックマニュアル](#)
- [オートチャーティスト・完全ガイド](#)
- [オートチャーティスト・チャートパターン分析入門](#)

## ■先週のレビュー

まず、先週のストラテジの振り返りです。前回はシグナル点灯直後に逆に動いた通貨ペアを積極的にピックアップしてみましたがどうなったでしょうか。

(1) GBPCHF の買い（シグナル点灯 5月17日）TP=1.3602、SL=1.3462

先週執筆時点のレートが 1.35567、その後のレンジは 1.31780~1.35698 と一度も上がることなくじり安の展開を辿ることとなりました。イタリアの連立政権の政策に対する懸念からユーロが売られる動きとなり、ユーロに引っ張られてのポンド売りの影響が最大の要因となりましたが、直近ではリスクオフの円買いの動き同様に、低金利通貨であるスイスフランの買いも見られて週を通して下げ続ける流れでした。SLも執筆当日のNY市場でつけ-94.7pipsの損失となりました。

(2) AUDJPY の買い (シグナル点灯 5月16日) TP=83.12、SL=82.18

先週執筆時点のレートが 82.969、その後のレンジは 82.480~84.478 でした。AUDJPY はドル円同様に今週初めまではリスクオンの動きから豪ドルが買われ 84 円台半ばまで上昇、特に豪ドルは米中通商交渉の影響も大きく週初めまでは買いが強い展開でした。しかし、その後詳細検討への不透明感や新たに知的財産の問題が米中間で起きる懸念から一転下げる展開となり、23日はドル円とともに大きく下げる流れとなりました。AUDJPY は執筆直後に TP の水準に到達しましたので+15.1pips の利益となりました。

(3) CADCHF の売り (シグナル点灯 5月15日) TP=0.7666、SL=0.7866

先週執筆時点のレートが 0.78289、その後のレンジは 0.76678~0.78547 と、執筆時点直後からじり安となりましたが、ぎりぎり TP の水準には到達せずとなりました。この組み合わせも 23 日のリスクオフの動きで低金利通貨のスイスフラン買いで下げたのですが、FOMC 議事録発表を前に切り返しています。これまで同様にこうしたケースでは執筆時点のレートで成行決済としますので 0.77383 での利食いとなり、+90.6pips の利益となります。

今週は 2 勝 1 敗、(1) と (3) はどちらも CHF でほぼ同額のプラスとマイナスですから、pips としては小さいですが (2) の AUDJPY の利益がプラスという結果です。

### ■先週に続いてトルコリラ

先週は米金利上昇が新興国通貨売りに繋がり、アルゼンチンペソを筆頭にトルコリラも危ない状況であることを書きましたが、この一週間でトルコリラは凄まじい乱高下となっています。はじめに USDTRY の 1 時間足チャートをご覧ください。



5月に入り常にドル高・トルコリラ安に流れが続いていましたが、全般的な新興国通貨売りの動きの中でエルドアン大統領による中銀の独立性を無視した発言や、通貨安による物価上昇からトルコリラは売りが強まりました。そこに、23日のリスクオフの円買いで日本の個人投資家によるトルコリラ円買いポジションの強制決済が起きてしまいました。おそらく全ポジションの10～20%程度のポジションが切られたと推計されます。

しかし、海外市場に移りトルコ中銀が3%もの緊急利上げを行い実質的な政策金利となっている後期流動性貸出金利を16.5%としたのです。さすがに市場参加者はこの通貨防衛策に反応し、トルコリラは反転急騰となりました。

さて、これでトルコリラ安は終わったのか？ということが最大の関心ですが、トルコ中銀としては切り札を切ったことになり、急騰といっても週初の水準に戻したに過ぎません。アルゼンチンのように金利を上げ続けることも出来ないでしょうし、材料的にはトルコにとってネガティブな材料はまだ多い上に、ポジション的にもロングが残っています。

短期的なトルコリラ売りはいったん抑えられたものの長期的なトルコリラ売りの動き自体には変化は無いと考えざるを得ません。そして、通貨当局や中銀の防衛策は、再び試される動きとなることが多いのは、過去の歴史が物語っていると言わざるを得ないでしょう。

## ■今週の特徴

今週も先週に続いて選択に悩む週です。ここ数日、特に昨日のドル円を中心とした大きな動きに振らされている影響が大きいと思いますが、チャートパターンが現れてから既にTPの水準に到達しているものと、チャートパターン自体を考え直さないといけない状況となっているもので、かなり選択肢が狭まっています。

先週同様に4時間足での選択で60%にして上記のものを外すと、残ったのは3つとなってしまいました。ひとつはUSDJPYの売り、これはこれまでの上昇トレンドを大きく下抜いてきますのでチャートパターンによる選択肢としては正しいでしょう。残りの2つはUSDSEKの買いとUSDMXNの売りでドルとしての方向性は逆ですから、結果としてはSEKMXNクロス売りで捉えることも出来ます。

正直なところ主要通貨以外はニュースもチャートも追いかけて続けることは困難な方がほとんどだと思いますが、こうしたチャートパターンによる自動売買的発想も、自分自身ではやらない通貨ペアでの取引として面白いのではないのでしょうか。

## ■今週のピックアップ

### (1) USDJPY の売り



チャートパターンとしては「上昇チャンネル」の下抜けによる USD 売りです。シグナルが出たのは 23 日に 110 円の大台に近づいた水準でいったんは売りが強まりましたが、FOMC 議事録発表に向け買い戻され再度下押ししているのが 24 日の朝の状態です。こうした下げトレンドの中での戻しを「プルバック」と言い、前回安値を下回る時には大きな下げに繋がる可能性が高いため、チャートパターンだけでなくその後の動きのにも悪くない選択です。シグナル点灯後 89 時間以内にグレーのゾーン上端にあたる 108.03 近辺まで下落する可能性が指摘されています。

戦略：USDJPY の売り（シグナル点灯 5 月 23 日）執筆時点 109.718

TP=108.03、SL=111.40

### (2) USDSEK の買い



チャートパターンとしては「トライアングル」の上抜けによる USD 買いです。トライアングル上抜け後に元のトライアングルの上辺となっているレジスタンスラインの水準まで押しつけてきているのは若干気がかりですが、これもここで再度反発すればドル円のところで書いたプルバック（こちらは上昇トレンド発生後の押し）となりますので見守るしかありません。水準的にはシグナル点灯直後の水準となっています。USDSEK の買いはシグナル点灯後 21 時間以内にグレーのゾーンの下端にあたる 8.8545 近辺まで上がる可能性が指摘されています。

戦略：USDSEK の買い（シグナル点灯 5 月 23 日）執筆時点 8.75336  
 TP=8.8545、SL=8.6387

### (3) USDMXN の売り



チャートパターンとしては「上昇チャンネル」の下抜けによる USD 売りです。5 月に入っすぐからの上昇チャンネルのサポートを下抜けていますので、比較的長い上昇チャンネルです。上記の (2) のストラテジと合わせるとドルの方向性は消えることとなりますので、MXN の買いという方向性はいったん新興国通貨売りが収まればワークしそうですし、逆に更なる新興国通貨の混乱となれば新興国通貨としては流動性の高いメキシコペソも無傷ではられません。というのも、新興国通貨は一般的に流動性が低いため、とりあえずのヘッジとしてメキシコペソを売っておくというオペレーションがしばしば見られるためです。シグナル点灯後 36 時間以内にグレーのゾーンの上端にあたる 19.1828 をターゲットとする動きが指摘されています。

戦略：USDMXN の売り（シグナル点灯 5 月 23 日）執筆時点 19.65975  
 TP=19.1828、SL=19.9357

さて、2 週続いて選択肢が 3 通貨ペアという状況が続いていますが、自分なりの解釈を加えこうしたエキゾチックな通貨ペアで売買する際に知っておいた方が良いことなども書いてあります。

本筋とは違う内容ではありますが、結構重要なポイントにも触れていますので参考にしてください。

来週はもう少し戦略的な選択肢が多いと良いのですが、マーケットが動かない時もあるように、選択肢が決められてしまうということもあります。こんな時は積極的にチャレンジしてみるのもいいですし、様子見で取引しないという待ちの姿勢でもよいと思います。

#### 【本レポートについてのご注意】

- 本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 本レポートは、作成時点において執筆者およびサクソバンク証券（以下「当社」といいます。）が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、執筆者および当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。
- 本レポート内で示される意見は執筆者によるものであり、当社の考えを反映するものではありません。また、これらはいくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。
- お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行ってください。本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、執筆者および当社は責任を負いません。
- 本レポートの全部か一部かを問わず、無断での転用、複製、再配信、ウェブサイトへの投稿や掲載等を行うことはできません。